
Dead or Alive

名岡聖

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Dead or Alive

【コード】

NO310I

【作者名】

名岡聖

【あらすじ】

君との別れの物語 Part1 最期の挨拶

夏の日差しが遠ざかり、秋の虫たちが音曲を奏でる頃
僕は君と出会った

少しずつ僕も君も変わったけれど

それでも、ただひたすらに君を追いかけていた

それから一年が経ち、無残に砕け散ったプライドとともに
僕は君を遠くに連れ出した

そして

僕の手が、身体が、君を離れ

君は斃れ、傷つき、燃え上がる

僕は転がり、叩き付けられ、打ちのめされる

何がいけなかったのか

(プライドなんてちっぽけな物にしがみついていたから?)

何が悪かったのか

(何も言わなかった君を無理やり連れ出したから?)

でも、そんなこと、今の僕には何も考えられない

ただ君が、ただ燃えゆくのを感じるだけ

ごめんよ、大事にしてあげられなくて

ごめんよ、無茶ばかり押しつけて

ありがとう、いつもつきあってくれて

ありがとう、僕と共にいてくれて

もし今日が君との別れの日だと知っていたら

きっと僕は、いつも以上に君を見つめていただろう

些細な変化にも、いつもと違う所にも、すぐ気づいただろう

でも、それも今日で終わり

終わってしまった

悲しさとも驚きともやるせなさとも違う

切なさとも憤怒とも口惜しさとも違う

ただ失ってしまった、という虚ろな気持ちをかかえ

もうどうしようもない気持ちとともに

燃えゆく君を見つめていた

本当にごめん、大事にしてあげられなくて

本当にごめん、無茶ばかり押しつけて

最期にありがとう、いつもつきあってくれて

最期までありがとう、僕と共にいてくれて

新緑が紅葉に変わる、君とのデートにとっておきの日に

こんなことになってしまって本当にごめんね

ほんのわずかなつきあいだったけれど

君との出会いから僕は変わることができたよ

今ここに、最高の感謝をこめて

「いままでつきあってくれてありがとう」

(後書き)

ありがたいことに今の所こんな状況になったことはありません
あくまで今の所、ですが・・・(笑)

もしこんなことになったら、泣いちゃうかもしれないですね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0310i/>

Dead or Alive

2010年10月17日09時08分発行